

障がい児通所支援の利用について

※宇都宮市記入欄

この調査は、通所支援事業所において、お子様にとって必要な支援の量を把握し、適切な支援を行うために実施するものです。

保護者や慣れている支援者がいない状況、お子様が初めて訪れる場所など、適切な支援や環境が整っていない状況でのお子様の状態について、当てはまるものに○印を付けてください。

「できるとき」と「できないとき」がある場合は、「できないとき」を想定して判断してください。

ご記入に当たっては、ご自宅での状態だけでなく、通所支援事業所での状態も考慮していただきますようお願いいたします。

3歳未満	<input type="checkbox"/> 全介助又は一部介助が2つ以上
3歳以上	<input type="checkbox"/> 全介助又は一部介助が1つ以上、かつ、ほぼ毎日又は週に1回以上等が1つ以上
放デイ	<input type="checkbox"/> 全介助が3項目以上、若しくは判定項目6～21で13点以上()

フリガナ 児童名	記入日	令和	年	月	日	
	記入日時点の年齢					歳
	生年月日	平成	年	月	日	
	受給者番号					

項目	← お子様の状態 →		
	1. 食事 食事の始まりから終わりまでについて、支援が必要かどうか	・介助なし 全てを自分でできる	・一部介助 声かけや見守り、食物を小さく切る等の支援が必要
2. 排せつ 尿意(便意)の発現から排尿(排便)後の後始末までについて、支援が必要かどうか	・介助なし 全てを自分でできる	・一部介助 定時促しの声かけや、拭取りの部分的なやり直しが必要	・全介助
3. 入浴 入浴の脱衣から着衣までについて、支援が必要かどうか	・介助なし 全てを自分でできる	・一部介助 声かけや見守り、洗う・拭く行為が不十分で支援が必要	・全介助
4. 移動 日常生活における必要な場所への移動について、支援が必要かどうか	・介助なし 全てを自分でできる	・一部介助 階段や悪路等の条件によって介助が必要、道順や手段にこだわりがある等	・全介助

記入日時点において、3歳以上の場合は、下記の項目についても記入してください。

5. 昼夜逆転(睡眠)【放デイを除く】 例: 睡眠リズムが崩れやすい。入眠障害、睡眠時間の不安定さ、早期覚醒がある。睡眠障害に関する診断を受けている。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
6. 大声・奇声を出す 例: 周囲が驚いたり、他者に迷惑となるような大声や奇声を出す。物などを使って周囲に不快な音を立てる。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
7. 多動・行動停止 例: 特定の物や人に対する興味関心が強く、思いどおりにならないと多動になったり、動かなくなったりする。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
8. 不安定な行動 例: 予定や慣れている支援者や状況が変わることが受け入れられず、パニック状態になる。不安、恐怖等から衝動的な行動をする。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日

項目	← お子様の状態 →		
9. 突発的な行動 例: 関心が強い物や人を見つけたら、突然そちらへ走っていってしまう。危険認識が弱く、道路に飛び出したり、熱いものなどに手を出したりしてしまう。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
10. てんかん	・なし	・経過観察あり 服薬はしていないが、経過観察を行っている。	・診断あり 服薬で発作を予防している
11. 異食行動 例: 食べられないものを口に入れたり、飲み込んだりする。異食行動を未然に防ぐため、異食しそうなものを周囲に置かないなどの配慮が必要。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
12. 過食・反すう等 例: 過食、拒食がある。極度の偏食(特定の物しか食べない等)があり、配慮をしている。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
13. 自らを傷つける行為 例: 自分を叩く。頭を床や壁に打ち付ける。頭髪を抜く。傷口を触ったり、ほじったりして治らない。衣服を破る。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
14. 他人を傷つける行為 例: 他人を叩く。髪の毛を引っ張る。蹴る。壁を壊したり、ガラスを割ったりする等、他人を傷つける可能性がある。暴言等により、他人を心理的に傷つける。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
15. 不適切な行為 例: 興味や関心が優先し、適切な意思表示ができなかったり、判断能力が不十分だったりする。急に人に抱き付く。断りなく物を持ってきてしまう。他人をのぞき込む。急に他人に接近する。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
16. そううつ状態 例: 前後の脈絡なく、急に泣いたり、笑ったりする。過度な興奮状態。怒りやすい。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
17. 反復的行動 例: 物や行為にこだわり特定の行為を繰り返す。予定や物の置く位置などが変わると混乱し元に戻すよう求める。くるくる回るものやキラキラするものに集中し動けなくなることがある。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
18. 対人面の不安緊張・集団への不適応 例: 人に会うと緊張する、危害を加えられるのではないかと強い不安等が生じるため、外出等が出来ない。社会への参加を拒否する、その場にいても一緒に行動できない。	・なし	・週1回以上	・ほぼ毎日
19. 説明の理解	・支援不要 簡単な口頭での説明を概ね理解し、うなずく等、説明に伴った行動ができる。	・支援が必要な場合がある 簡単な口頭の指示でも理解できず、説明に応じた行動ができないことが多い。	・常に支援が必要 簡単な口頭の説明も理解が難しい。理解できているか判断できない。
20. コミュニケーション	・支援不要 日常生活における口頭での自分の意思の伝達に支障がない。	・支援が必要な場合がある 慣れていない場面等では、口頭でのコミュニケーションが難しく配慮を必要とする。	・常に支援が必要 コミュニケーションツール等を用いても、自分の意思の伝達ができない。
21. 読み書き	・支援不要 支援がなくても文字の読み書き及び意味の理解ができる。	・支援が必要な場合がある 文字の読み書き及び意味の理解の一部を自分で行えないため部分的に支援が必要。	・常に支援が必要 文字の読み書き及び意味の理解に関して全面的に支援が必要。

